

点検・評価シート（2）

第 3 次大和市生涯学習計画

事務事業の概要

◆ 評価の基準について ◆

○目標（11の中項目）の「総合評価」

A評価	目標の実現に向けて、期待を上回る結果が表れている。
B評価	目標の実現に向けて、期待された結果が表れている。
C評価	目標が実現に向けて、期待された結果が表れていない。

○小項目の「達成度」

A評価	施策の進捗状況が、23年度に期待された結果を上回っている。
B評価	施策の進捗状況が、23年度に期待された通りの結果になっている。
C評価	施策の進捗状況が、23年度に期待された結果を下回っている。

中項目 (1) 情報の提供

〔目標〕 生涯学習各関係機関の機能を明確にし、情報システムを確立するとともに、その普及・活用を図ります。

主な事業と平成 23 年度の実績

＜小項目①＞ 情報提供の充実

- ・ 多様化した市民ニーズに応えるため、関連情報の収集・蓄積・提供の充実に努めます。
- ・ 市民が、いつでもどこでも自分にあった方法で情報が取得できるよう、情報誌やインターネットなど様々なメディアを使った情報提供に努めます。
- ・ 図書の活用促進と、図書館のレファレンス機能の充実に努めます。

(1) 生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

＜学習情報の提供実績＞

サークル・団体情報	2,678 件	(前年度 2,835 件)
事業・講座情報	2,159 件	(同上 1,955 件)
資格・試験情報	29 件	(同上 47 件)
ボランティア講師制度情報	221 件	(同上 345 件)
市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	10,278 人	(同上 14,110 人)
その他	6,824 件	(同上 6,372 件)

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 2,835 件 実績 2,678 件

(2) 青少年センター運営事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年健全育成のため、青少年・青少年団体等へ施設を提供しました。また、大和市のホームページの体系の中で、青少年関係のページの内容の充実と情報の随時更新を行いました。

- ・ 青少年センター利用者総数 43,504 人 (前年度 41,282 人)
- ・ 青少年センター個人・団体別等利用者数
個人：3,586 人 / 団体：37,044 人 / 自主事業：2,874 人
- ・ 青少年センター区分別利用者数

幼児	7,388 人	保護者	7,952 人	小学生	8,642 人
中学生	1,634 人	高校生	448 人	学生	1,070 人
勤労青年	2,257 人	指導者	3,485 人	その他	10,628 人
- ・ 情報提供項目数 97 項目

〔活動指標〕 情報提供項目数 (ホームページ) 予定 67 件 実績 97 件

(3) 図書情報提供事業

[担当] 図書館

- [事業内容]
- ・平成 24 年 1 月の図書館システムの更新に伴い、蔵書検索機能の充実を図りました。また、予約状況や資料情報の即時更新が可能となりました。
 - ・インターネットによる予約受付を行いました。
 - ・ブックリスト・図書館報を作成しました。



[活動指標] 図書情報冊子（ブックリスト）発行部数 予定 6,000 冊 実績 8,625 冊

<小項目②> 学習相談の充実

- ・生涯学習情報システム「やまと生涯学習がいどぶっく 電子版」等を活用した相談体制の充実を図ります。
- ・学習センターでの学習相談をはじめ、青少年センターや子育て支援センター等での教育相談等、市民一人ひとりの実情に合わせた、きめ細かい相談事業の充実を図ります。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容] 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	2,678 件	(前年度 2,835 件)
事業・講座情報	2,159 件	(同上 1,955 件)
資格・試験情報	29 件	(同上 47 件)
ボランティア講師制度情報	221 件	(同上 345 件)
市民端末利用者数	10,278 人	(同上 14,110 人)
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)		
その他	6,824 件	(同上 6,372 件)

[活動指標] サークル・団体情報提供件数 予定 2,835 件 実績 2,678 件

＜小項目③＞ 支援者の充実

- ・ 生涯学習活動を支援する行政側のスタッフ（学習相談員、社会教育指導員、社会教育主事、司書等）の充実に努めます。
- ・ 地域における人材情報の収集・蓄積・提供を行い、生涯学習ボランティア講師の充実に努めます。

(1) スポーツ指導者育成支援事業

【担当】 スポーツ課

【事業内容】

- ・ 大和市体育指導委員連絡協議会に対して補助金を交付しました。
- ・ 他市交流研修会を実施しました。
（開成町・清川村・寒川町・大和市38人参加）
- ・ 神奈川県体育指導委員連合会研修会、県央ブロック研修会へ派遣しました（2回、延べ26人参加）。
- ・ 全国体育指導委員研究協議会へ派遣しました（東京都14人参加）。

【活動指標】

各部会実施回数

予定 20回

実績 20回

(2) 青少年指導者育成支援事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】

青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。

【活動指標】

青少年指導員年間活動数

予定 330件

実績 453件

(3) 図書ボランティア養成講座事業

【担当】 図書館

【事業内容】

- ・ 図書ボランティアの養成を行いました。
- ・ 養成講座やボランティアのつどい（市内活動団体の交流会）を実施しました。

ブックスタートボランティア養成講座：3回実施・延べ99人参加
読み聞かせボランティア養成講座

入門編：2回実施・延べ72人参加

ブラッシュアップ編：3回実施・延べ78人参加

ストーリーテリングボランティア養成講座：

3回実施・延べ39人参加

ボランティアのつどい：1回実施・7団体・10人参加



【活動指標】

ボランティア養成講座受講者数

予定 180人

実績 288人

教育委員会の自己点検・評価

大項目 1 一人ひとりへの働きかけ 中項目 (1) 情報の提供	総合評価 B
目標達成状況の総括	学習に関する情報提供は、積極的な学習活動へのきっかけとなります。社会情勢の変化や市民ニーズの把握にむけた情報収集を、積極的に行う必要があります。

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 情報提供の充実	施策の達成度 B
平成24年1月の図書館システムの更新に伴う機能充実により、迅速な情報提供が可能となりました。生涯学習機会の提供や支援体制の充実に加え、情報を必要としている人に、適切かつ効果的に情報を提供する方策の検討が必要です。	
【小項目②】 学習相談の充実	施策の達成度 B
市民の様々なニーズに対応するため、だれでも気軽に学習相談ができる支援体制を整えました。また、適切な方法で情報提供を行い、市民の問題解決を図ることができました。	
【小項目③】 支援者の充実	施策の達成度 B
生涯学習活動を支援するためには、人材の育成が重要です。スポーツ指導者や青少年指導員の活動支援のほか、新たな取り組みとして、ブックスタートボランティア養成講座の新規開催や、講座のレベルアップを図るなど、人材育成に努めました。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H23年度実績	H23年度目標	コメント
(1) 「生涯学習がいどぶっく」発行部数	3,500部	3,500部	前期2,500部、後期1,000部を発行しました。市民の主体的な学習意欲を喚起できるように、様々な場で配布し、周知に努めました。
(2) 図書情報冊子（ブックリスト）発行部数	8,625部	11,000部	H19年度実績の5,200部をベースとして、毎年15%増を目指して設定した目標には少し足りませんでした。H23年度では改定版を発行し、発達段階や活動に応じたブックリストの作成によって、情報提供の充実を図ることができました。
(3) 図書リサイクルフェア参加者数	1,156人	1,250人	H19年度実績の1,200人をベースとして毎年1%の参加者増を目指しましたが、H23年度は東日本大震災の影響で目標に達することができませんでした。しかし、児童施設や読み聞かせ団体等の参加数は毎年度増加しており、子ども読書活動の推進に寄与しました。
(4) 文化財収蔵資料見学者数	15人	50人	H19年度前後の平均の50人をベースとして、目標を設定しましたが、新たな資料や収蔵品が発見されなかったため、見学者数は増えませんでした。

2. その他、事務事業に関する特記事項

特にありません。

中項目(2) 学習機会の提供

〔目標〕 全庁的な連携と協力体制を強固なものにし、体系化された学習機会の提供と、市民ニーズに合致した新しい事業の創出に努めます。

主な事業と平成23年度の実績

<小項目①> 市民ニーズに応じた学習機会の提供

- ・ 全庁で実施している事業を有機的なつながりをもって提供できるように、重複事業の一元化を図り、効果的な事業を実施していきます。
- ・ 分野別／難易度別に体系化した学習機会の提供に努めます。
- ・ 実施時間／曜日／保育付きなど市民の多様なライフスタイルに配慮した、参加しやすい講座を実施します。

(1) 青少年育成事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年を対象とした社会・自然体験推進のため、大和ユースクラブに事業を委託して、宿泊研修、野外活動体験等の活動を実施しました。

<会員数>

わくわく冒険隊 : 69人 ジュニアシニアクラブ : 58人

ユースボランティア : 10人

- ・ 子どもが自由に活動できる場所を提供しました。

子ども広場 … 毎週水曜日の午後と土曜日、夏休み中に体育室を開放しました。

中高生ボランティア … 夏休み中の子ども広場をボランティア体験の場として実施しました。

〔活動指標〕 ユースクラブ活動日数

予定 120日 実績 100日

(2) 少年洋上体験事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年健全育成基金を原資とし、帆船「あこがれ」をチャーターし、3泊4日のセイルトレーニング（本研修）と、事前・事後研修を実施しました。

- ・ 参加者数 28人（前年度 30人）
- ・ 本研修 8月13日(土)～16日(火)
- ・ 発着港 大阪南港～熊野灘～遠州灘～駿河湾～清水港

- ・ 事前・事後研修
7月31日(日)
8月28日(日)

参加者数

〔活動指標〕 予定 30人
実績 28人



(3) 講座等開催事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会の提供を行いました。

- ・生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 73 事業（前年度 60 事業）
- ・現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
52 事業（同上 35 事業）
- ・その他事業（音楽会や発表会等） 65 事業（同上 72 事業）
- ・協働事業（渋谷中学校） 21 事業（同上 24 事業）



【活動指標】 開催講座数 予定 140 事業 実績 211 事業

(4) 市民大学事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・人間を知るコース（8回開催）
「戦国・織豊期を考える」
- ・現代を知るコース（4回開催）
「海洋研究の最先端」～海から学ぶ地球の「今」～
- ・現代を知るコース（7回開催）
「睡眠と老化を正しく理解し、健康的に歳をとりましょう」

講座回数

予定 16 回 実績 19 回

【活動指標】



(5) 図書資料貸出事業

【担当】 図書館

- 【事業内容】
- ・利用者が図書館に求める資料を収集しました。
 - ・未所蔵の資料について、相互貸借システムなどにより提供しました。
蔵書冊数（市内図書館施設合計） 445,970 冊（前年度 418,957 冊）
 - ・平成 24 年 1 月の図書館システムの更新により、貸出期間の延長など利用者サービスの向上を図りました。

【活動指標】 資料貸出冊数 予定 1,140,000 冊 実績 1,040,954 冊

<小項目②> 現代的課題に関する学習機会の提供

- ・ 関連計画との整合を図り、庁内で連携した学習機会の提供に努めていきます。
- ・ 現代的課題を生涯各期の学習機会の中に体系化し、それぞれの年代に応じ学習機会の提供に努めていきます。

(再掲) 講座等開催事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容] 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会の提供を行いました。

- ・ 生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 73 事業（前年度 60 事業）
- ・ 現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
52 事業（同上 35 事業）
- ・ その他事業（音楽会や発表会等） 65 事業（同上 72 事業）
- ・ 協働事業（渋谷中学校） 21 事業（同上 24 事業）

[活動指標] 開催講座数 予定 140 事業 実績 211 事業

(再掲) 市民大学事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容] 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・ 人間を知るコース（8回開催）「戦国・織豊期を考える」
- ・ 現代を知るコース（4回開催）「海洋研究の最先端」
- ・ 現代を知るコース（7回開催）「睡眠と老化を正しく理解し、健康的に歳をとりましょう」

[活動指標] 講座回数 予定 16 回 実績 19 回

<小項目③> 生涯にわたるスポーツと健康維持・増進のための学習機会の提供

- ・ 地域住民の主体的なスポーツ活動を支援し、定期的・継続的なスポーツ活動の充実を図ります。
- ・ 生涯スポーツ事業を年代別・難易度別に体系化し、行事や教室等の提供に努めます。
- ・ スポーツ水準の向上を図るための事業を提供していきます。
- ・ 心身の健康管理や病気予防等の知識が身につく講座を開催するなど、健康を維持増進するための学習機会を提供していきます。

(1) スポーツ教室開催事業

[担当] スポーツ課

[事業内容] スポーツ教室の開催を(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託して実施しました。

開催教室：9 種目 11 教室（前年度 9 種目 10 教室）

- ・ トランポリン教室 2 回
- ・ 障がい者卓球教室 1 回
- ・ 健康体操教室 1 回
- ・ はじめてのヨガ教室 2 回
- ・ はじめての親子体操教室 1 回
- ・ 親子ふれあいサッカー教室 1 回
- ・ ソフトバレーボール教室 1 回
- ・ 市民体力づくり歩け歩け運動 1 回
- ・ スポーツマッサージ教室 1 回

参加人数計：603 人（前年度 425 人）

[活動指標] 開催種目数 予定 9 種目 実績 9 種目

(2) スポーツ大会開催事業

[担当] スポーツ課

[事業内容]

各種スポーツ大会の開催を支援しました。

<開催実績(参加チーム数・人数等)>

- ・大和市民総合スポーツ選手権大会 5,691人 (前年度 5,630人)
- ・大和市民駅伝競走大会 119チーム (同上 99チーム)
- ・スポーツフェスタ 755人 (同上 1,105人)
- ・大和市民ゴルフ大会 266人 (同上 157人)
- ・大和市民まつりスポーツイベント 震災のため中止 (同上 2,250人)
- ・なでしこサッカーin やまと 1,845人 (同上 1,200人)
- ・はつらつまママさんバレーボール大会 1,450人

[活動指標]

開催回数
 予定 8回
 実績 7回



大和市民駅伝競走大会

(3) 学校施設スポーツ開放事業

[担当] スポーツ課

[事業内容]

スポーツ及びレクリエーション活動の場として市内小中学校の校庭・体育館・武道場・プールを開放しました。

	利用件数		利用人数	
	H23	H22	H23	H22
校庭開放	3,139	3,801	172,839	192,991
体育館等開放	10,877	8,973	238,068	199,063
プール開放	(18校で開催)	(14校で開催)	7,742	8,639

※プール開放期間 7月22日～8月14日

[活動指標]

登録団体数 予定 550団体 実績 461団体

(再掲) 市民大学事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容]

市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・人間を知るコース(8回開催)「戦国・織豊期を考える」
- ・現代を知るコース(4回開催)「海洋研究の最先端」
- ・現代を知るコース(7回開催)「睡眠と老化を正しく理解し、健康的に歳をとみましょう」

[活動指標]

講座回数 予定 16回 実績 19回

<小項目④> 芸術・文化に関する学習機会の提供

- ・ 芸術・文化活動への市民の関わりを深め、広げていきます。
- ・ 地域文化創造の基盤となる文化遺産の継承と周知を図っていきます。

(1) 文化芸術振興事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

下記の事業を開催しました。

- ・ コミュニティ音楽館 (来場者数 1,046人)
- ・ 文化祭 (出品数 207点)
- ・ ダンスフェスティバル (出場者数 21組)
- ・ さくら文芸祭 (出品数 242点)
- ・ 第7回大和文芸映画祭 (入場者数 700人)



文化祭の様子

【活動指標】 コミュニティ音楽館の開催日数 予定 14日 実績 14日

(2) 音楽・演劇フェスティバル開催事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】

- ・ 音楽フェスティバルは、吹奏楽の部と合唱の部ごとに単独のイベントとして、それぞれの参加団体による実行委員会に委託して実施しました。

音楽フェスティバルの開催 : 2回

- ・ 演劇フェスティバルは、市内で文化活動として演劇に携わる人たちによる実行委員会に委託し、実施しました。

演劇フェスティバルの開催 : 1回

【活動指標】 音楽・演劇フェスティバル参加団体数 予定 29団体 実績 31団体

(3) 埋蔵文化財保護事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

- ・ 埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者の照会を行いました。 985件 (前年度 1,272件)
- ・ 埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者との協議を行いました。 73件 (同上 80件)
- ・ 埋蔵文化財の発掘調査を行いました。 19件 (同上 35件)

【活動指標】 文化財保護法上の事務件数 予定 111件 実績 95件

(4) 郷土民家園管理運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

指定管理者による管理運営を行いました。

指定管理者 : 公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団

年間入園者総数 : 30,515人 (前年度 27,943人)

【活動指標】 行事参加者数 予定 645人 実績 357人

(5) 下鶴間ふるさと館維持管理事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 管理・運営方法を指定管理者によるものから、直営に変更しました。
入館者数 : 5,120人 (前年度 7,378人)



ふるさと館の外観



母屋

【活動指標】 一般公開日数

予定 255日 実績 260日

(6) つる舞の里歴史資料館運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

- 資料管理、来館者への説明、普及事業などを行い、市民の方々の歴史に関する理解を深めました。
- 常設展を開催するほか、企画展「黒船がやってきた！一幕末を迎えた江戸近郊農村の様相」を開催しました。

開催期間：

平成23年10月22日

～同23年12月18日

入場者：3,101人



【活動指標】 年間入場者数

予定 4,000人 実績 5,119人

教育委員会の自己点検・評価

大項目 1 一人ひとりへの働きかけ 中項目 (2) 学習機会の提供	総合評価 B
目標達成状況の総括	多様化したライフスタイルに対応するため、誰でもが自由に集まれる場や活動方法、時間帯などに配慮し、参加しやすい学習機会の提供に努めました。

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】市民ニーズに応じた学習機会の提供 市民の様々なライフスタイルに配慮した講座等の開催や図書資料の充実など、学習機会の提供に努めました。	施策の達成度 B
【小項目②】現代的課題に関する学習機会の提供 市民大学では、毎年、現代的課題や社会情勢をテーマにした講座を開催しています。平成23年度は開催回数を増やし、より専門的、継続的な学習機会の提供に努めました。学習センターで実施する各種講座の開催回数も前年実績を大幅に上回っており、多様な市民ニーズに充分に対応しているといえます。	施策の達成度 B
【小項目③】生涯にわたるスポーツと健康維持・増進のための学習機会の提供 東日本大震災の影響と節電による施設の使用制限などの理由により、利用者が減少した施設もありました。しかし、各種スポーツ大会への参加者数は増加傾向にあり、市民のスポーツに対する関心の高さ現れています。	施策の達成度 B
【小項目④】芸術・文化に関する学習機会の提供 つる舞の里歴史資料館・郷土民家園・下鶴間ふるさと館の3館合同企画事業の実施など、3館を回って楽しめるような取り組みを増やし、PRに努めました。今後も市民ニーズの把握と施設の有効活用の検討を要します。	施策の達成度 B

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H23年度実績	H23年度目標	コメント
(1) やまと市民大学受講者延べ人数	999人	900人	H23年度は、震災による節電により定員を60名にしたため、昨年度実績より減少しましたが、最終目標「合計8割以上の出席率」は目標を達成しています。
(2) おはなし会、読書に関する講演会の参加者数	2,639人	3,750人	H19年度の2,140人をベースとして、毎年15%の参加者増を目指しており、H23年度は開催場所や手法などの見直しを図りましたが、市民まつり中止の影響を受け、目標に達しませんでした。
(3) 図書館・生涯学習センター図書室の市民1人あたり貸出図書数	4.52冊	4.43冊	H19年度の3.94冊をベースとして、毎年5%の伸びを目指し、H23年度は目標ペースを上回りました。
(4) 生涯学習センター5館の市民1人あたり年間利用回数	4.21回	4.13回	H23年度は、東日本大震災の影響により、1人あたりの年間利用回数は、H22年度を若干下回りましたが、目標は達成しています。

(5) 各種スポーツ大会の参加者数	10,845 人	9,225 人	H21 年度の参加者数 9,044 人をベースとして、毎年 1%増を目指しました。各種大会の参加者は順調に伸び、スポーツへの関心が高まってきていることが伺えます。
(6) スポーツ施設の市民 1 人あたり利用回数	5.62 回	6.15 回	H21 年度の利用回数 6.03 回をベースとして、毎年概ね 1%の増加を目指しました。施設によっては、目標値を上回っているところもありましたが、東日本大震災の影響と節電による施設の使用制限などの理由により減少となり目標ペースを下回りました。
(7) 歴史文化施設の利用者数	40,754 人	42,600 人	H19 年度の 3 施設利用者合計 41,000 人をベースとして、毎年 1%の増加を目指しましたが、23 年度は東日本大震災の影響により、全施設で入館者数が減少したため、前年度実績を下回りました。

2. その他、事務事業に関する特記事項

下鶴間ふるさと館は、平成 23 年 4 月より、投資的効果を考えた効率的な運営を目指して、運営主体を指定管理者から直営に変更しました。

中項目(3) ボランティア機会の提供

〔目標〕 一人ひとりが学習を深め、自らを高めることができるよう、学習成果の社会還元機会として、ボランティア活動を普及し活性化していきます。

主な事業と平成23年度の実績

<小項目①> ボランティア登録窓口の一元化と認知度の向上・普及

- ・ 市民活動センター、社会福祉協議会やまもボランティアセンターなど、ボランティア窓口機関や関係課が一体となって、一人ひとりの市民の視点に立ったわかりやすく信頼感の持てる総合的なボランティア窓口を設置します。
- ・ ボランティア窓口の機能・人員・業務内容を充実させ、窓口やボランティア活動の存在について一般への認知度を向上させ、普及・浸透させていきます。

<小項目②> ボランティア活動の拡大に向けた循環の構築

- ・ ボランティア登録等の総合窓口を中心に、紹介・実践を持続的に行い、ボランティア市民層の発掘・拡大、研修（受け入れ先機関等との連携企画）、評価（顕彰促進、成果の社会へのPRなど）を行い、活動がより多くの市民の目に触れ、より多くの市民の充実した参加が得られるようにします。
- ・ より多くのボランティア活動メニューを提示し、市民一人ひとりのニーズに応えられるよう、庁内各課・施設・関係機関・団体等へのボランティアの受入について働きかけ、新たなボランティア活動を創出していきます。
- ・ 学習センターを中心に、地区に根ざした活動についてボランティア市民層の発掘、身近で気軽な実践機会の提供、ステップアップに向けた情報提供を行います。

〔再掲〕生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	2,678件	(前年度 2,835件)
事業・講座情報	2,159件	(同上 1,955件)
資格・試験情報	29件	(同上 47件)
ボランティア講師制度情報	221件	(同上 345件)
市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	10,278人	(同上 14,110人)
その他	6,824件	(同上 6,372件)

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 2,835件 実績 2,678件

大項目 1 一人ひとりへの働きかけ 中項目 (3) ボランティア機会の提供		総合評価 B
目標達成状況の総括	ボランティアの活性化や活動しやすい環境づくりに努めました。しかしながら、ボランティアの固定化や高齢化がみられ、今後は、幅広い世代にボランティアへの関心を高めてもらうための方策が課題となります。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 ボランティア登録窓口の一元化と認知度の向上・普及	施策の達成度 B
【小項目②】 ボランティア活動の拡大に向けた循環の構築	
ボランティア講師の会の活性化や活動のPRに努め、目標を達することができました。ボランティアとの連携により、幅広い生涯学習を推進することができます。今後は、ボランティアの増加と活動の普及に努める必要があります。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H23年度実績	H23年度目標	コメント
(1) ボランティア講師登録者数	199人	170人	H22年度よりボランティア講師の登録は、隔年毎に更新し、一人ひとりの意識喚起を図りました。
(2) 夏休み期間中に青少年センター・ボランティア体験に参加した中高生数	23人	44人	中・高校への募集案内配布など周知を図りましたが参加者が目標に達しませんでした。
(3) 乳幼児期事業参加者数	16,529人	11,815人	H22年度より数値は下がりましたが、実績値は、目標を上回っています。

2. その他、事務事業に関する特記事項

特にありません。

中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動への支援

- 【目標】
- ・各課等で実施しているグループ活動支援に関わる既存事業を整理して「生涯学習・人材育成と地域活動・市民活動の循環」の視点から支援のあり方を見直します。
 - ・市内での役割分担や整合性を図り、テーマ別グループ活動への支援を体系化・システム化します

主な事業と平成 23 年度の実績

＜小項目①＞ 情報収集・蓄積・提供

- ・全市的・広域的なテーマ別活動の情報収集・蓄積・提供を行う市民活動センターへ市内各課等が情報を提供するなど、積極的な連携・協力を図ります。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 市内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

＜学習情報の提供実績＞

サークル・団体情報	2,678 件	(前年度 2,835 件)
事業・講座情報	2,159 件	(同上 1,955 件)
資格・試験情報	29 件	(同上 47 件)
ボランティア講師制度情報	221 件	(同上 345 件)
市民端末利用者数	10,278 人	(同上 14,110 人)
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)		
その他	6,824 件	(同上 6,372 件)

【活動指標】 サークル・団体情報提供件数 予定 2,835 件 実績 2,678 件

＜小項目②＞ 初動期・発展期のグループ活動への支援

＜小項目③＞ 持続的な支援

- ・ 市民活動推進事業の中で、テーマ別の初動期・発展期のグループ活動への支援を行います。
- ・ 学習センターの学習交流支援システム（市民が企画する講座など、広く一般へ働きかける事業への支援システム）の普及・活動促進を図ります。
- ・ 重要度の高い分野については、庁内各課機関等が直接または間接的に持続的なグループ活動支援を行っていきます。

(1) やまと成人式開催事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 新成人等で組織する実行委員会に「2012やまと成人式」の企画・運営・実施を委託しました。

日程：平成24年1月9日（月・祝） 場所：大和スポーツセンター

運営内容等 ・案内状・チケット等の印刷物のデザイン

・式典及び司会進行

・アトラクション

・託児室の設置 等

参加者：1,486人（70.2%）
（前年度 1,476人（71.9%））



【活動指標】

式典参加者数

予定 2,117人

実績 1,486人

「2012 やまと成人式」実行委員

(2) 生涯学習振興基金活用支援事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 下記の1団体に対し、生涯学習振興補助金を交付しました。

・交付団体「ドラマティックカンパニーYamato50」

実施日：平成23年11月6日

会場：保健福祉センターホール

＜基金残高＞ 平成22年度末現在高 20,458,258円
平成23年度末現在高 19,989,322円

【活動指標】

補助金申請件数

予定

1件

実績

1件

(再掲) 青少年指導者育成支援事業	[担当] こども・青少年課
[事業内容] 青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。	
[活動指標] 青少年指導員年間活動数	予定 330件 実績 453件

(再掲) 文化芸術振興事業	[担当] 文化振興課
[事業内容] 下記の事業を開催しました。	
・コミュニティ音楽館 (来場者数 1,046人)	
・文化祭 (出品数 207点)	
・ダンスフェスティバル (出場者数 21組)	
・さくら文芸祭 (出品数 242点)	
・第7回大和文芸映画祭 (入場者数 700人)	
[活動指標] コミュニティ音楽館の開催日数	予定 14日 実績 14日

<小項目④> 担い手の発掘・育成・主体創出

- ・ 庁内各課・機関等は、重要度の高い分野で協働可能な領域について、必要な事業・活動の理解者・協力者となる市民を発掘・育成し、組織化を支援するなどして、その事業・活動を担う主体を創出していきます。

(1) 青少年健全育成都市宣言推進事業	[担当] こども・青少年課
[事業内容] 青少年の育成活動について幅広く市民に啓発を図り、市民総ぐるみの運動として青少年健全育成大会を開催しました。	
<青少年健全育成大会の主な内容>	
表彰式： 被表彰者 24人	
作文発表： 応募人数 2,496人 (小20校、中9校、高2校)	
作文集掲載者： 31人	
作文朗読者： 3人 (小1人、中1人・高1人)	
活動発表： 県立大和高等学校創作舞踊部	
[活動指標] 青少年問題協議会の開催回数	予定 2回 実績 2回

(2) 市立小中学校特別教室の開放事業	[担当] 生涯学習センター																																	
[事業内容] 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。23年6月からつきみ野中、大和小、緑野小の3校を新規開放しました。																																		
<特別教室の開放の実績>																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>開放回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央林間小</td> <td>38回</td> <td>860人</td> </tr> <tr> <td>渋谷小</td> <td>207回</td> <td>3,267人</td> </tr> <tr> <td>林間小</td> <td>220回</td> <td>3,336人</td> </tr> <tr> <td>大和小</td> <td>1回</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>緑野小</td> <td>10回</td> <td>215人</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	開放回数	利用者数	中央林間小	38回	860人	渋谷小	207回	3,267人	林間小	220回	3,336人	大和小	1回	10人	緑野小	10回	215人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>開放回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引地台中</td> <td>64回</td> <td>857人</td> </tr> <tr> <td>渋谷中</td> <td>996回</td> <td>18,738人</td> </tr> <tr> <td>光丘中</td> <td>31回</td> <td>247人</td> </tr> <tr> <td>つきみ野中</td> <td>11回</td> <td>59人</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	開放回数	利用者数	引地台中	64回	857人	渋谷中	996回	18,738人	光丘中	31回	247人	つきみ野中	11回	59人
学校名	開放回数	利用者数																																
中央林間小	38回	860人																																
渋谷小	207回	3,267人																																
林間小	220回	3,336人																																
大和小	1回	10人																																
緑野小	10回	215人																																
学校名	開放回数	利用者数																																
引地台中	64回	857人																																
渋谷中	996回	18,738人																																
光丘中	31回	247人																																
つきみ野中	11回	59人																																
※渋谷中学校(特別教室・1階総合学習スペース(愛称:下和田の郷))の開放は、「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。																																		
[活動指標] 下和田の郷教室事業数	予定 24事業 実績 21事業																																	

＜小項目⑤＞ 一般化・汎用化と地区単位活動への普及促進

- ・ 庁内各課・機関等は、全市的・広域的なテーマ別活動やパイロット的活動が一定の成果をあげた場合の次のステップとして、その活動をより一般化・汎用化して、地区単位活動へ普及・浸透させていきます。

〔再掲〕生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

＜学習情報の提供実績＞

サークル・団体情報	2,678 件	(前年度 2,835 件)
事業・講座情報	2,159 件	(同上 1,955 件)
資格・試験情報	29 件	(同上 47 件)
ボランティア講師制度情報	221 件	(同上 345 件)
市民端末利用者数	10,278 人	(同上 14,110 人)
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)		
その他	6,824 件	(同上 6,372 件)

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 2,835 件 実績 2,678 件

教育委員会の自己点検・評価

大項目 2 グループ活動への支援		総合評価 B
中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動への支援		
目標達成状況の総括	学習グループが全市的・広域的に活動していくためには、学習センターによる支援のほか、庁内各課や小中学校による学習発表の場の提供が必要です。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】情報収集・蓄積・提供	施策の達成度 B
市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習センターだけでなく、青少年センター、ボランティアセンター、老人福祉センター、市民活動センター、社会福祉会館などで活動している団体などの情報を収集し、提供しています。また、相談などに際しては、各学習センター職員が団体の活動状況や団体との連絡を行うなど、市民の要望に合った情報の発信に努めています。	
【小項目②】初期的・発展期のグループ活動への支援	施策の達成度 B
【小項目③】持続的な支援	
学級の終了時やボランティア講師による学習の終了時には、さらに学習活動が続けられるよう、学習グループの結成に向けた支援をしています。また、既存のグループに対しては、さらに発展させるために、会館まつりへの参加やギャラリーを使用した発表などを促すなどの学習グループの支援を行っています。	
【小項目④】担い手の発掘・育成・主体創出	施策の達成度 B
読書活動や家庭教育などの現代的な課題に対する持続的な支援をするため、読み聞かせのグループの活動の場や子育て期の母親の集える場を継続的に設けています。	

【小項目⑤】 一般化・汎用化と地区単位活動への普及促進**施策の達成度 B**

読書活動を推進するために、高齢者に対する読み聞かせの講座を開いた結果、学習センターで読み聞かせ会を開催するなど、独自に活動を開始しています。また、防災の講座が地域の防災活動につながるなど、様々な課題を取り上げ、市民に学習する機会や活動する機会を与え、市民グループや活動を育てています。

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H23年度実績	H23年度目標	コメント
(1) 音楽・演劇フェスティバル参加者数	1,350人	1,400人	音楽フェスティバルは参加団体も多く、いつも目標を達成します。演劇フェスティバルは実行委員会がPRに努め参加者が増えましたが、目標を達成することはできませんでした。
(2) 青少年指導員年間活動数	453回	330回	地区活動が活発に行われたことで目標を上回りました。

2. その他、事務事業に関する特記事項

特にありません。

中項目(2) 地区単位活動への支援

〔目標〕 広域的・全市的なテーマ別グループ活動への支援とは異なり、テーマ別活動の所管課等の持つ資源を効果的に引き出すなど、より地区の実情に配慮した対応を行うため、連携・協力などのコーディネート機能に重点を置いた支援を目指します。

主な事業と平成23年度の実績

<小項目①> 情報収集・蓄積・提供

- ・ 現在、情報コーナー管理や学習相談など主に社会教育主事・社会教育指導員が実施している各学習センターの機能・体制を強化し、より積極的に身近な地区単位活動の情報収集・蓄積・提供を行います。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	2,678件	(前年度 2,835件)
事業・講座情報	2,159件	(同上 1,955件)
資格・試験情報	29件	(同上 47件)
ボランティア講師制度情報	221件	(同上 345件)
市民端末利用者数	10,278人	(同上 14,110人)
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)		
その他	6,824件	(同上 6,372件)

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 2,835件 実績 2,678件

<小項目②> 学習交流支援システムの普及・活用促進

<小項目③> 担い手の発掘・育成・主体創出等への連携協力・支援

- ・ 各学習センターにおける学習交流支援システム（市民が企画する講座など広く一般に働きかける事業への支援システム）の普及・活用促進を図り、地区における人材育成や学習成果の社会還元を充実させます。
- ・ 庁内各課・機関や団体等が各分野の担い手の発掘・育成・主体創出等で社会教育的事業を行う場合に、各学習センターが共催事業とするなど、連携・協力・支援を行います。
- ・ 各学習センターに社会教育指導員を充実配置し、社会教育主事など専門職員による指導のもと、地区単位活動の連携推進業務を担当させながら、地区の市民感覚と行政・公益への理解とを併せ持つ人材を持続的に地区へ輩出していきます。

(1) 学習センター地域文化振興事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、各学習センターを会場に、サークル等の合同発表会（展示・発表・実演・上映会）として「学習センターまつり」を開催しました。

〔活動指標〕 生涯学習センターまつり参加団体数 予定 182団体 実績 197団体

＜小項目④＞ 持続的な支援

- ・ 庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、普及・活用・浸透を図ります。
- ・ 庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、人材育成等が十分に行き渡り、事業の理解・行動の担い手となる市民層が充実した地区から順次支援対象を市民自治区とし、個別の単位集団への支援業務等を委ねていきます。

(1) 親子ふれあい推進事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】

ふれあい広場は推進委員会に、また、親子ナイトウォークラリーは青少年指導員連絡協議会に委託して実施しました。

＜ふれあい広場＞

開催期間 平成 23 年 10 月から平成 24 年 1 月まで

開催場所 地区実行委員会 12 地区、小学校区実行委員会 3 地区

入場者数 16,419 人（前年度 12,792 人）

＜親子ナイトウォークラリー＞

実施日：平成 23 年 7 月 16 日（土）

スタート：大和市役所、大和スポーツセンター、引地台公園

ゴール：大野原小学校

参加者数：166 組 586 人（前年度 153 組 553 人）



【活動指標】

ふれあい広場開催回数

予定 15 回

実績 15 回

(2) スポーツ関係団体支援事業

【担当】 スポーツ課

【事業内容】

次の団体に対して補助金を交付しました。

- ・ 地区体育振興会（10 地区）
- ・ 体育協会
- ・ スポーツ少年団
- ・ レクリエーション協会
- ・ 軽スポーツ協会

【活動指標】

地区体育振興会連絡協議会開催数

予定 4 回

実績 3 回

教育委員会の自己点検・評価

大項目 2 グループ活動への支援 中項目 (2) 地区単位活動への支援	総合評価 B
目標達成状況の総括	グループ活動には、社会教育主事や社会教育指導員の支援が重要であり、活発なグループ活動の状況に支援の成果が表れています。しかし、所属する会員の高齢化や新規参加者の減少などの課題があり、人材育成への対策を講じる必要があります。

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 情報収集・蓄積・提供 各学習センターの社会教育主事や社会教育指導員が、地域に根ざした活動の情報を提供し、グループ活動の支援や活発化に努めました。	施策の達成度 B
【小項目②】 学習交流支援システムの普及・活用促進 【小項目③】 担い手の発掘・育成・主体創出等への連携協力・支援 各学習センターで開催している地域文化振興事業への参加団体が年々増加しており、行政と団体との連携・協力が十分図られています。平成23年度は、新たに15団体が参加し、地域における文化の担い手の発掘と育成に努めました。	施策の達成度 A
【小項目④】 持続的な支援 地区単位の活動は、市民交流の促進や地域コミュニティ形成につながります。生涯学習を通じた地域社会での積極的な活動が成果の指標に表れています。継続的に支援していくためには後継者の発掘が重要であり、今後も引き続き、活動の積極的なPRを行っていきます。	施策の達成度 B

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H23年度実績	H23年度目標	コメント
(1) センターまつり参加者数	6,929人	6,500人	社会教育主事の積極的な働きかけにより、まつりへの参加団体が増え、多くの方に参加いただきました。
(2) 社教団主催地域文化振興事業参加団体数	236団体	231団体	社会教育関係団体への積極的な働きかけにより、事業運営に参加する団体が増えました。
(3) 青少年センター利用者数	43,504人	43,500人	目標は達成しましたが、中高生の利用者を増やす工夫が必要です。
(4) ふれあい広場参加者数	16,419人	18,000人	屋外で実施しているため、天候により参加者数が増減します。目標には届かなかったものの雨天でも実施できるよう、屋内を利用するなど工夫して実施しました。

2. その他、事務事業に関する特記事項

特にありません。

中項目（1）既存の生涯学習施設の充実

【目標】 ・ 多様な市民ニーズに対応すべく、既存の関連施設の高度活用等を図っていきます。

主な事業と平成 23 年度の実績

<小項目①> 利用しやすい施設づくり

- ・ 利用者の利便性向上のために、施設スタッフの充実と施設利用システムの改善等に努めていきます。
- ・ 快適な施設づくりのために、設備の改善等に努めていきます。

(1) 青少年センター施設維持管理事務

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 施設の総合的な維持管理を行いました。

【活動指標】 委託管理件数

予定 16 件 実績 16 件

(2) 生涯学習センター会議室等貸出事務

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】

- ・ 施設利用に必要な団体登録申請に係る事務や登録後の各種変更申請の処理を行いました。
- ・ 会議室等使用料の収納、利用状況の統計事務、物品・備品の貸出などを行いました。
- ・ 平成 22 年 3 月に新渋谷学習センターが開館しました。休館日も毎月最終月曜日のみとして、市民の多様化したニーズに合わせています。



【活動指標】 開館日数延べ

予定 1,535 日 実績 1,583 日

<小項目②> 施設の効果的な運営

- ・ 市民協働や民間委託などの手法も視野に入れながら、施設の効果・効率的運営を図っていきます。

(1) 青少年キャンプ施設管理運営事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 泉の森ふれあいキャンプ場の開設とこのまさわキャンプ場を借上げ、青少年団体や親子に提供しました。

<利用者数等>

・ 泉の森ふれあいキャンプ場 14,171 人（前年度 14,051 人）

※ 開設日：3～11月…毎日 / 12～2月…土・日・祝日



・ このまさわキャンプ場 469 人（同上 518 人）

※ 開設日：8月13日～20日（8泊9日）

稼働率 75.7%（前年度 80.6%）

【活動指標】 泉の森ふれあいキャンプ場開放日数 予定 302 日 実績 301 日

(再掲) 郷土民家園管理運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 指定管理者による管理・運営を行いました。

指定管理者：公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団

年間入園総数：30,515 人（前年度 27,943 人）

【活動指標】 行事参加者数 予定 645 人 実績 357 人

(再掲) 下鶴間ふるさと館維持管理事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 指定管理者から直営による管理・運営を行いました。

入館者数：5,120 人（前年度 7,378 人）

【活動指標】 一般公開日数 予定 255 日 実績 260 日

(再掲) 図書情報提供事業

【担当】 図書館

【事業内容】 ・平成 24 年 1 月の図書館システムの更新に伴い、蔵書検索機能の充実を図りました。また、予約状況や資料情報の即時更新が可能となりました。

・インターネットによる予約受付を行いました。

・ブックリスト・図書館報を作成しました。

【活動指標】 図書情報冊子（ブックリスト）発行部数 予定 6,300 冊 実績 8,625 冊

大項目 3 学習空間の確保 中項目 (1) 既存の生涯学習施設の充実		総合評価 B
目標達成状況の総括	生涯学習の活動拠点として施設の整備と充実は重要です。しかし、各施設の老朽化が進んでいるため、計画的な維持補修を行っていく必要があります。引続き効率的な運営を目指し、手段手法を検討していきます。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 利用しやすい施設づくり	施策の達成度 B
利用者の促進を図り、施設を安全かつ快適に使用していただけるよう、適切な維持管理に努め、学習に適した環境づくりを心がけました。	
【小項目②】 施設の効果的な運営	施策の達成度 A
図書館及び渋谷学習センターについては民間業務委託を活用し、運営経費削減を図りつつ、サービスの質を維持しました。また、下鶴間ふるさと館については、平成23年度より投資効果を考えた効率的な運営を目指して、運営主体を指定管理者から直営に移行し、経費削減を図りました。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H23年度実績	H23年度目標	コメント
(1) スポーツ施設の市民1人あたりの利用回数	5.62回	6.15回	H21年度の利用回数6.03回をベースとして、毎年概ね1%の増加を目指しました。施設によっては、目標値を上回っているところもありましたが、東日本大震災の影響と節電による施設の使用制限などの理由により減少となり目標ペースを下回りました。
(2) 青少年キャンプ施設利用者数	泉の森ふれあいキャンプ場		H23年度のこのまさわキャンプ場は利用日直前のキャンセルが多かったため、利用者数が減少しましたが、その他は目標を上回りました。
	14,171人	14,000人	
	このまさわキャンプ場		
	469人	500人	

2. その他、事務事業に関する特記事項

特にありません。

中項目(2) 新たな学習空間の確保

【目標】 自然や史跡、広場など、学習空間の確保に努めていきます。

主な事業と平成23年度の実績

<小項目①> 新たな学習空間の確保

・ 閉じられた施設空間だけでなく、開放的な屋外空間の確保にも努めていきます。

(1) 放課後子ども教室推進事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 放課後の子どもの安全・安心な居場所を確保するため、また、様々な遊びを通して、協調性や社会性を養う場として、6月より市内全公立小学校において週2日実施しました。

実施日数 881日 延べ利用者数 43,903人

実施場所 校庭・体育館・余裕教室(児童会室・図書室・図工室など)

実施日 授業のある日の月曜日と水・木・金曜日のいずれか1日

実施時間 午後2時から午後5時

【活動指標】 放課後子ども教室 1日平均利用者数 予定 100人 実績 50人

(再掲) 市立小中学校特別教室の開放事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。23年6月からつきみ野中、大和小、緑野小の3校を新規開放しました。

<特別教室の開放の実績>

学校名	開放回数	利用者数	学校名	開放回数	利用者数
中央林間小	38回	860人	引地台中	64回	857人
渋谷小	207回	3,267人	渋谷中	996回	18,738人
林間小	220回	3,336人	光丘中	31回	247人
大和小	1回	10人	つきみ野中	11回	59人
緑野小	10回	215人			

※渋谷中学校(特別教室・1階総合学習スペース(愛称:下和田の郷))の開放は、「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

【活動指標】 下和田の郷教室事業数 予定 24事業 実績 21事業

中項目（3）施設配置の再検討

〔目標〕 生涯学習関連施設の今後のあり方を再検討していきます。

主な事業と平成 23 年度の実績

<小項目①> 施設配置の再検討

- ・ 施設の概念を、広く自然や史跡等を含む活動空間としてとらえながら、取り巻く情勢の変化を踏まえて、今後の関連施設のあり方について再検討していきます。
- ・ 今後の関連施設のあり方は、市民や関連部署とともに検討していきます。

（1）文化会館建設基金管理事務

〔担当〕 文化振興課

〔事業内容〕 寄附金の受入れ及び積立金の管理を行いました。

寄附件数 2件（前年度9件）

〔活動指標〕 寄附金受入件数 予定 1件 実績 2件

教育委員会の自己点検・評価

大項目 3 学習空間の確保 中項目 (2) 新たな学習空間の確保 中項目 (3) 施設配置の再検討	総合評価 B
目標達成状況の総括	「いつでも、どこでも、だれでも」が学習できる場の提供に努めました。 今後も引き続き、利用しやすい施設づくりを目指します。

1. 施策に対する成果と課題

中項目 (2) 【小項目①】 新たな学習空間の確保	施策の達成度 B
放課後子ども教室実施校については、平成23年度に全小学校（19校）で実施し、地域における身近な場所で、学習機会の提供ができるよう努めました。 また、特別教室の開放事業については、平成23年6月に3校（つきみ野中・大和小・緑野小）を新規開放しました。多くの市民に利用いただけるよう周知に努めます。	
中項目 (3) 【小項目①】 施設配置の再検討	施策の達成度 B
新たな文化施設の建設計画には、学習センターや図書館の移設も予定に入っており、現在多方面にわたり検討を行っているところです。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H23年度実績	H23年度目標	コメント
(1) 放課後子ども教室実施校数	19校	19校	H23年6月から全小学校で週2日実施し、目標を達成しました。
(2) 特別教室開放利用回数	1,578回	1,920回	H23年度には、新規に3校の特別教室を開放しました。目標を達成することができませんでしたが、これからも促進を図れるよう周知に努めます。

2. その他、事務事業に関する特記事項

特にありません。

中項目 (1) 市民とともに推進する

- 〔目標〕
- ・生涯学習推進協議会の市民参加度を高め、協働による施策の立案・推進を図っていきます。
 - ・個人・グループ単位の市民と協働した事業推進を図っていきます。

主な事業と平成 23 年度の実績

＜小項目①＞ 市民代表機関の充実

- ・生涯学習推進協議会の市民メンバー比率を高めていきます。
- ・生涯学習推進協議会の機能を拡大していきます。

(1) 生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 生涯学習推進協議会は、その制度自体を見直すため平成 21 年度から休会しています。

しかし、新たな生涯学習施策の総合的な進行管理を行う「生涯学習推進計画」策定に関し、社会教育委員会議において審議を行い、平成 24 年 3 月に同計画を策定しました。

〔活動指標〕 生涯学習推進計画策定のための会議開催回数
 予定 0 回 実績 5 回
 催数

＜小項目②＞ 市民と協働で進める事業

- ・ボランティア講師組織の自立化を支援していきます。
- ・学習グループの自主企画講座等の活発化を支援していきます。

(再掲) 講座等開催事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

- ・生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 73 事業（前年度 60 事業）
- ・現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
52 事業（同上 35 事業）
- ・その他事業（音楽会や発表会等） 65 事業（同上 72 事業）
- ・協働事業（渋谷中学校） 21 事業（同上 24 事業）

〔活動指標〕 開催講座数
 予定 140 事業 実績 211 事業

教育委員会の自己点検・評価

大項目 4 推進体制の確立 中項目 (1) 市民とともに推進する	総合評価 B
目標達成状況の総括	自主的な市民の学習活動を支援するためには、行政のサポートが必要です。市では毎年有資格者の増加を図るとともに、専門職員のスキルアップに努めました。

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 市民代表機関の充実 【小項目②】 市民と協働で進める事業	施策の達成度 B
成果の指標 (2) のとおり、市民との協働事業は十分成果をあげており、地域における学習活動が定着しています。今後も、学習を通じた人と人とのつながりをつくっていきます。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H23 年度実績	H23 年度目標	コメント
(1) 市民主催講座参加者数	3,018 人	4,500 人	市民主催講座の参加者増を目指しましたが、目標値に達することができませんでした。これからも様々な機会を通じて、積極的に社会教育関係団体へ働きかけていきます。
(2) 「下和田の郷」協働事業来館者数	18,738 人	9,500 人	周辺自治会のご協力により、渋谷中学校「下和田の郷」で実施する事業を毎月回覧することで、地域の方々の継続的な利用が根づいてきました。

2. その他、事務事業に関する特記事項

特にありません。

中項目（2）関係機関と連携して推進する

- 【目標】
- ・市の出資する財団・公社との役割分担を明確にして、相互補完と連携による事業推進を図っていきます。
 - ・必要に応じて、高等教育機関や民間教育機関等との事業連携を図っていきます。

主な事業と平成 23 年度の実績

<小項目①> 財団・公社との連携

- ・ 財団・公社の事業採算性と公益的責務をふまえた市との役割分担を明確にします。
- ・ 財団・公社の公益的責務に着目し、行政の事業領域を委ねていきます。

(1) スポーツ・よか・みどり財団支援事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 社会貢献を主たる目的とするスポーツ、文化芸術及び緑化に関する様々な公益事業を実施している公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団を支援しました。

(公財) 大和市スポーツ・よか・みどり財団運営費補助金

【活動指標】 市からの派遣職員数 予定 0人 実績 0人

<小項目②> 関係機関との連携

- ・ 高度で専門的な学習機会の提供事業などを、大学や民間教育機関と連携して推進していきます。
- ・ 行政の事業領域の見直し。

(1) 読書活動推進事業

【担当】 図書館

【事業内容】 ・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。

(実績) おはなし会 76回実施・1,956名参加
読書講演会 全3回実施・延べ139名参加
子ども読書活動推進講座 全1回実施・延べ35名参加
一日図書館員 全3回実施・38名参加

- ・ 大和市子ども読書活動推進会議の開催
- ・ 大和市子ども読書活動推進実施計画の実施



【活動指標】 講座等実施回数 予定 81回 実績 83回

大項目 4 推進体制の確立 中項目 (2) 関係機関と連携して推進する		総合評価 B
目標達成状況の総括	生涯学習の視点に立ち、関係機関との連携を継続的に行っていくことで、市民の生涯学習の支援につなげていくことが重要です。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】市が出資する財団・公社との連携	施策の達成度 B
【小項目②】関係機関との連携	
<p>市が出資する財団等に対し委託事業等を行うことにより、役割分担、相互補完等を行っています。また、放送大学との連携会議等を行い、年1回放送大学と県央8市の共催による生涯学習をテーマとしたシンポジウムを行っています。</p> <p>また、市民のニーズを常に把握することにつとめ、それらをどこでも講座等の新たなメニューに加えるなどの努力が必要です。</p> <p>今後も関連機関との連携を強化し、市民の生涯学習活動の推進を図っていきます。</p>	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H23年度実績	H23年度目標	コメント
(1) やまと市民大学講座受講者延べ人数	999人	900人	H23年度は震災の影響による節電により、定員を60名としたため、昨年度の実績より減少しました。最終目標「合計の8割以上出席率」は、目標を達成しています。開催回数19回、出席率87.6%
(2) 出前講座「どこでも講座」申込件数	10件	20件	庁内関連課に要請して、講座のタイトルや内容の見直しを図り、広くPRしましたが、増加につながりませんでした。

2. その他、事務事業に関する特記事項

平成23年7月1日付けで財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団は、公益財団法人へ移行し、公益目的事業を主たる事業として、市民サービスのさらなる充実を図りました。

中項目 (3) 総合行政として推進する

- 〔目標〕
- ・ 関連部署による協議組織の機能を充実していきます。
 - ・ 各部署が取り組みやすい環境を整えていきます。

主な事業と平成 23 年度の実績

<小項目①> 全庁的協議組織の設置

- ・ 生涯学習推進調整会議（生涯学習事業を実施している担当課長会議）を設置し、全庁的な施策の推進を図ります。
- ・ 事業内容検討委員会及び特別教室開放推進委員会を設置し、事業調整を図ります。

〔再掲〕 市立小中学校特別教室の開放事業 [担当] 生涯学習センター

〔事業内容〕 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。23 年 6 月からつきみ野中、大和小、緑野小の 3 校を新規開放しました。
 <特別教室の開放の実績>

学校名	開放回	利用者数	学校名	開放回数	利用者数
中央林間小	38 回	860 人	引地台中	64 回	857 人
渋谷小	207 回	3,267 人	渋谷中	996 回	16,738 人
林間小	220 回	3,336 人	光丘中	31 回	247 人
大和小	1 回	10 人	つきみ野中	11 回	59 人
緑野小	10 回	215 人			

※渋谷中学校（特別教室・1 階総合学習スペース（愛称：下和田の郷））の開放は、「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷さんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

〔活動指標〕 下和田の郷教室事業数 予定 21 事業 実績 24 事業

<小項目②> 各部署の取り組み推進

- ・ 全庁的な意識づくり、共通認識を醸成していきます。
- ・ 具体的な取組方針や、事業フレームを明確にしていきます
- ・ 生涯学習主管部署が、全庁にわたる関連事業についての進行管理を行っていきます。

〔再掲〕 読書活動推進事業 [担当] 図書館

〔事業内容〕

- ・ 各種おはなし会・文学講座などを開催しました。

（実績） おはなし会	76 回実施・1,956 名参加
読書講演会	全 3 回実施・延べ 139 名参加
子ども読書活動推進講座	全 1 回実施・延べ 35 名参加
一日図書館員	全 3 回実施・38 名参加

- ・ 大和市子ども読書活動推進会議の開催
- ・ 大和市子ども読書活動推進実施計画の実施

〔活動指標〕 講座等実施回数 予定 81 回 実績 83 回

<小項目③> 生涯学習所管部門の整備・充実

- ・ 明確な目標設定のもと、推進体制（組織）を一元化していきます。
- ・ 適材適所の人材配置に努めます。

(1) 文化財保護審議等運営事務

[担当] 文化振興課

[事業内容] 文化財保護審議会を開催し、市指定重要文化財の指定案件について審議しました。また、文化財保護指導委員による巡回調査を実施しました。

- ・ 文化財保護審議会 2回開催（前年度2回）
- ・ 文化財保護指導委員会 2回開催（同上 2回）
- ・ 指定文化財等巡回調査 2回実施（同上 2回）

[活動指標] 審議会開催数 予定 2回 実績 2回

(2) 社会教育委員会会議運営事務

[担当] 生涯学習センター

[事業内容] 社会教育委員は、教育委員会により委嘱され、社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会の諮問に応じて意見を述べたり、調査研究等を行っています。

社会教育委員の構成（24年3月現在）

第27期社会教育委員の任期2年（平成23年6月1日～25年5月31日）

委員定数 15名以内： 現在 11名（男性7名・女性4名）

内訳：学校教育関係者 1名

社会教育関係者 1名

家庭教育の向上に資する活動を行う者 3名

学識経験者 6名

≪1 社会教育委員の会議≫

平成23年度は次のような会議等を行いました。

○ 第26期臨時会 1回

協議1 平成23年度社会教育関係団体への補助金について

協議2 平成23年度社会教育委員に関する研修会等について

報告1 平成23年度社会教育関係の主要な事業について

報告2 第2次大和市子ども読書活動推進計画の策定について

○ 第27期

① 定例会 4回

第1回

協議1 平成23年度社会教育委員会議から選出する委員について

協議2 平成23年度社会教育委員に関する研修会等について

協議3 第4次生涯学習計画に関するアンケート結果及び生涯学習推進計画について

第2回

協議1 生涯学習推進計画について

報告1 平成23年度生涯学習振興補助金選考結果について

報告2 第2次大和市子ども読書活動推進計画アンケート集計結果報告

報告3 社会教育委員の活動等の報告

第3回

協議1 (仮称)第2次大和市子ども読書活動推進計画(案)について

協議2 教育委員会点検評価(案)について

大項目 4 推進体制の確立		総合評価 B
中項目 (3) 総合行政として推進する		
目標達成状況の総括	市民の抱える問題を、学習としての視点から行政としてどのように関われるか、さまざま工夫をする必要があります。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】全庁的協議組織の設置	施策の達成度 B
特別教室の開放事業にあたっては、前年度と同様に、市の関係各課、小・中学校で組織する「特別教室開放推進委員会」を開催しました。活発な意見交換を行うことにより、会議の活性化を図りました。	
【小項目②】各部署の取り組み推進	施策の達成度 B
税金や国民健康保険について関係課との共催による学習機会を設けています。これからも、市の部署との各部署の抱えている問題と市民の学習要求を捉え、それらをつなげるよう工夫し、各部署との共催による事業を積極的に行っていく必要があります。	
【小項目③】生涯学習所管部門の整備・充実	施策の達成度 B
生涯学習における諸施策を審議する「社会教育委員会議」は、通常の審議事項のほか、平成 23 年度には、「生涯学習推進計画」や「子ども読書力向上プラン」の策定に伴う教育委員会からの諮問について答申を行いました。	

2. その他、事務事業に関する特記事項

特にありません。